

Q66. Windows NT 標準の無停電電源監視サービスを使用する場合の設定方法について教えてください。

A66. ノンストップ電源を Windows NT 標準の無停電電源 (UPS) サービスで使用する場合は、次のように設定してください。

The image shows a screenshot of the 'UPS Service' configuration dialog box in Windows NT. The dialog is titled '無停電電源装置がインストールされているポート(U)' and 'COM1' is selected. It has 'OK', 'キャンセル', and 'ヘルプ (H)' buttons. The '無停電電源装置の構成' section includes checkboxes for '電源障害信号(P)', 'バッテリー容量低下信号(L) (最低シャットダウン 2分前に警告)', and 'リモート無停電電源シャットダウン(R)'. The '無停電電源のカーフェイス電圧' section has radio buttons for '負' and '正'. The 'リモートファイルを実行する(X)' section has a text box for 'ファイル名' containing 'Test.bat'. The '無停電電源の特性' section has spinners for 'バッテリーの予測寿命' (5) and '稼働1分ごとのバッテリー再充電時間' (120). The 'UPSサービス' section has spinners for '電源障害から警告メッセージまでの時間(T)' (5) and '警告メッセージの表示間隔' (10). Several callout boxes provide detailed instructions for each setting.

ノンストップ電源の信号極性を指定します。ノンストップ電源では、極性を次のとおりとします。  
電源障害信号 負  
バッテリー容量低下 負(不使用)  
リモート無停電電源シャットダウン 正

ノンストップ電源を接続したパソコンのポート(RS232C)を指定します。

シャットダウン前に自動実行するプログラムファイル名(exe.com.bat)を指定します。このファイルは ¥(systemroot)¥system32 ディレクトリに保存します。

ノンストップ電源では、バッテリー容量低下時はすぐさまシャットダウンする必要がありますので、このチェックは外しておきます。

バッテリーがフル充電の状態バックアップ可能な時間を入力します。

バッテリーでの稼働を 1 分行うのに必要な充電時間を設定します。ノンストップ電源のバックアップ時間の特性はホームページ掲載のとおりです。なお、充電の特性は正比例の関係にありませんので、充電特性とバックアップ対象となる出力の関係を見ながら数値を決める必要があります。

電源障害から警告メッセージまでの時間(T)

警告メッセージの表示間隔

メッセージの表示間隔です。停電発生後この間隔でメッセージが表示されます。復旧した際のメッセージも表示されます。

停電発生からメッセージが表示されるまでの時間です。0 秒に設定すれば、停電発生とほぼ同時にメッセージが表示されます。